

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	井原市役所		代表者名	大舌 勲	
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	0866-62-9511	
担当者役職	主事	担当者氏名	藤井 涼介	連絡先E-mail	*****
住所	715-0019 岡山県井原市311-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	専門的な知識がある方は多くいらっしゃるが、自治体の目線でアドレスができる人材は非常に希少です。その点高村氏は抜群の人材だと感じています。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。今後ともよろしくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年5月15日	支援・助言	無	開始時刻	終了時刻
				9時00分	10時45分
				活動時間（分）	105

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	井原市総務部総務課情報化推進係	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	リスクアセスメントの実施は、業務フローの作成が必要であり、簡易なものではない。また、現在のセキュリティポリシーは重要度別で情報資産を分類しているため、分類から見直す必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	まずは、セキュリティポリシーのマイナーチェンジの実施	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	リスクアセスメントの実例とその理由 安全管理措置の重要性 セキュリティポリシーでの情報資産の分類について	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	リスクアセスメントについて、根本的な考え方が変化した。簡易なものを想像していたがそれでは実際の業務に合っていないことが分かった。そのため、まずは基準となるセキュリティポリシーの情報資産の分類を再定義する必要がある。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	今後の予定と目標管理	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	アンケートの必要がないため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

